

2020年度第1回理事会議事録

1. 日時：2020年7月11日（土） 13:00～16:30
2. 場所： Japan Sport Olympic Square 3階 ミーティングルーム8
テレビ会議（Zoom）
3. 出席者（* テレビ会議による出席）：

理事：総数26名中 松丸喜一郎会長 田村恒彦副会長 褐田登喜造副会長兼専務理事
岸高清常務理事 溝部政司常務理事 大野明敏常務理事*
鍵山博常務理事* 横山幸子常務理事* 三木容子常務理事
佐橋朋木理事 源洋子理事 成山悟史理事 寺澤良悦理事*
田中僚一郎理事 高橋信吾理事* 田中辰美理事* 柳田勝理事
田口亜希理事* 松島愛理事* 上之園正一理事 横沢聰理事* 尾崎和郎理事*

以上出席22名

監事：総数2名中 石崎和男 香西俊輔 以上出席2名
4. 議事録署名人：松丸会長、田村副会長、褐田副会長、石崎監事、香西監事
5. 褐田専務が13時00分に理事21名出席で成立するとの宣言をした。
高橋信吾理事は、遅れて参加。
6. 議長：代表理事 松丸喜一郎

会長挨拶

豪雨災害でお亡くなりになった方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。

都市部を中心にコロナウィルスの感染者が急増しているが、経済的影響が大きすぎるため、社会経済活動を止める見通しはない。Withコロナとして新しい方法で進んでいく必要がある。今回の会議もその一環で、一堂に会するスタイルから、ウェブを介して議事を進行する形となった。同じく、競技会もWithコロナとして新しい形を模索していかなければならない。今までのように選手や役員が一堂に介する形は当分できない。遠隔地同士をウェブでつないで本選やファイナルを行なっていく方法を試していく。本理事会で紹介するビームピストルの照準軌跡表示システムもその方向性に合致したもの。

<審議事項>

1. 定時社員総会開催について
褐田専務理事より資料1のとおり説明があった。また同氏より、感染拡大予防のため、書面による議決権行使を推奨して開催案内を行う説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く8月1日に資料1のとおり開催することを承認した。
2. 総会議案正会員の変更について
褐田専務理事より資料2のとおり説明があった。特に質疑はなく議長が諮ったところ全員異議なく7名の正会員の交代について、資料2のとおり定時総会に諮ることを承認した。
3. 総会議案理事の候補者について
褐田専務理事より資料3のとおり説明があった。特に質疑はなく議長が諮ったところ全員異議

- なく 1 名の交代による理事の選任について、資料 3 のとおり定時総会に諮ることを承認した。
4. 2019 年度事業報告（案）について
袴田専務理事より資料 4 のとおり説明があり、特に質疑は無く、議長が諮ったところ全異議なく、資料 4 のとおり定時総会に諮ることを承認した。
5. 2019 年度収支決算書（案）について
袴田専務理事より資料 5 のとおり説明があった。
一般会計収支計算書については、下記の説明が行われた。
事業活動収入は、予算に対し、決算が 1,231 万円の収入増であった。
認定料収入が 20,822,400 円の予算に対し、27,278,119 円の決算となり、大きく乖離している。財務への影響が大きいため、今後ブロック理事にヒアリング行う。ブロック理事は、電子標的の導入、改修があるかという情報を事前にとおいてほしい、との依頼が袴田専務理事よりあった。
事業活動支出は、予算に対し、決算が 995 万円の支出減であった。
競技運営関係費は、3 月の高校選抜大会などが中止となつたため、支出減となつた。
国際審判等養成費は、希望していた安い会場にて開催できたため、支出減となつた。
競技規則印刷は、予算策定時に想定していなかつたため、支出が発生した。
用具等作成費は、既存の在庫でまかなえたため、支出減となつた。
ホームページ関係費は、サイトリニューアルの計画が未着手となつたため、支出減となつた。
選手強化事業収支計画書については、下記の説明が行われた。
事業活動収入の競技会参加料収入は、大会が減つたため、収入減となつた。
事業活動支出の JOC 補助事業 NTC 拡充等賃料は、賃料と補助の差額分支出だけで済んだため、支出減となつた。
2024 年パリオリンピック対策準備基金を設立する。
会計監査時に監事より、赤字予算が黒字になってよかつた、ではなく、予算と決算に差異がないようにするよう、指導があつた。
石崎監事より、監査報告書のとおり監査の結果問題がないこと、及び当協会の独立会計監査人の交代があつたことの報告があつた。
特に質疑はなく、議長が諮ったところ全員異議なく、資料 5 のとおり定時総会に諮ることを承認した。
6. 総会議案会員規程の改訂案について
袴田専務理事より資料 6 のとおり説明があった。
入会手続きは実態に合わせ、解散したデジタル部会の記述部分は抹消した。
学連規約の抜粋が、後の追加事項と重複する部分があるので、重複箇所を削除した。
各会員種別による日ラ入会手続き団体の原則について、条文を追加した。無銃で学生生徒を指導する、学生生徒でない者を各加盟団体の一般会員と記述した。
特に質疑はなく、議長が諮ったところ全員異議なく、資料 6 のとおり定時総会に諮ることを承認した。



7. 新規基金設立に伴う財産管理運用規程の改訂案について
藤井彌事務局長より資料 7 のとおり説明があり、特に質疑は無く、議長が諮ったところ全異議なく、資料 7 のとおり承認した。
8. 会計処理規程の改訂案について
藤井彌事務局長より資料 7 のとおり説明があった。
松丸会長より、新しい働き方の中では、中身のある仕事に絞り込んでいく必要があり、形式的なものは削減していく事を進めていきたい、との説明がなされた。
特に質疑は無く、議長が諮ったところ全異議なく、資料 7 のとおり承認した。
9. 2020 年度補正予算（案）について
袴田専務理事より、資料 9 のとおり説明があった。
本補正予算は、コロナウィルス感染拡大による社会的影響により、会費収入、JOC 強化交付金等収入、スポンサー契約料が大きく減少する事になった事を受けて編成したものである。
特に質疑はなく、議長が諮ったところ全員異議無く 2020 年度補正予算を資料 9 のとおりとすることを承認した。
10. 2019 年度会長表彰について
藤井彌事務局長より、資料 10 のとおり説明があった。
特に質疑はなく、議長が諮ったところ全員異議無く資料 10 のとおり承認した。
11. 東京 2020 オリンピック選手選考基本方針案について
田村副会長兼選手強化委員長より、資料 11 のとおり説明があった。
内定を受けた 50m 種目の選手は、条件付きで内定を維持する。基準点を設定し、後日行われる指定記録会にてそれを超える事を確認する。
延期された最終選考会に参加予定だった選手達は、後日行われる指定記録会に参加する。その指定記録会には、同選手達以外の選手達も参加し、記録を競う。最終選考会選手達に勝つ選手が出れば、その選手も追加で最終選考会に進出できる事とする。
要綱は、次回の理事会で示したい。試合再開が見えない今は、作成できない。
50m 種目の会場は未定だが、出来ればオリンピック射撃場、出来なければ屋外種目は基本的には他の屋外射撃場で実施したい。どうしても選択肢がなければ、NTC にて行う。
NT 基準点を設ける事は良い事だが、達成していないオリンピックに出場出来てしまうというのは疑問である。まずは NT 基準点を達してもらう。それを考慮した選手選考をしていただきたい。（大野常務理事）
⇒ 今回は自国開催であり、開催国枠が付与されている。開催国枠による出場を含め、その時一番強い選手を送る。今後派遣をする際は、一定レベル以上の選手のみを派遣するようする。（松丸会長）
議長が諮ったところ全員異議無く、資料 11 のとおりとすることを承認した。
理事会終了後の記者発表で告知する。（袴田専務理事）
12. 2021 年度 JOC エリートアカデミー新規生募集対応について
選手強化委員長の田村副会長より、資料 12 のとおり説明があった。
コロナウィルスの影響をうけ、育成活動として NTC が使えるのが 10 月からとなるため、オ

3. 会務報告

・訃報

藤井彌事務局長より、下記の通り説明がなされた。

本郷肇（はじめ） 名誉会員	2月 10日逝去	享年 87歳
古市実（ふるいちみのる） 名誉会員	3月 13日逝去	享年 97歳
中條公行（ひろゆき） 元参事、ロス五輪日本代表	4月 19日逝去	享年 74歳
関敏博（せきとしひろ） 岩手県ライフル射撃協会副会長	6月 26日逝去	享年 66歳

16時30分に議長の松丸会長が閉会を宣言した。

2020年7月16日

議事録署名人

公益社団法人日本ライフル射撃協会

議長、代表理事（会長）松 丸 喜 一 郎

松丸喜一郎



代表理事

田 村 恒 彦

田村恒彦



代表理事

袴 田 登 喜 造

袴田登喜造

監事

石 崎 和 男

石崎和男



監事

香 西 俊 輔

香西俊輔

